

# 防コミの歩き方



## 地域密着型 有馬町災害図上訓練を実施

神戸市北区有馬町は、温泉街で道路が狭隘、木造建物が密集していることもあり、災害対策について、常日頃から、意識高く取り組まれている地域です。有馬町防災福祉コミュニティで、先日災害図上訓練がおこなわれましたのでご紹介します。

### ●災害図上訓練とは？

これまで、防災福祉コミュニティの訓練といえば、消火器具の取り扱い、応急処置法など、具体的な手技の訓練が定番でしたが、実際その手技を活用する状況を考えるため、災害図上訓練をおこないました。災害図上訓練とは、地図を用いて机上で災害対応の検討をおこなう訓練で、今回はDIG(ディグ: Disaster Imagination Gameの略)という手法でおこないました。

### ●訓練概要

用意するものは、①有馬町全体の大きな地図(A3サイズに拡大コピーしてつないだ地図を活用)②透明なシート③数色の油性マーカー④除光液&ティッシュ(消しゴムの代わり)。まず、地図の上に透明シートをかぶせ、そこに、町の主要道路や行政機関、避難場所など、町にある施設を記入し、町全体の「つくり」を認識します。

次に、参加者の方々に、①大雨が続き、神戸市内では災害が多発。町にも避難勧告が発令され、避難誘導をしなければならぬ②地震が起こり、町内では火災が発生。消火、救助、避難をおこなわなければならない。といった訓練想定を付与しました。

各家庭にも配られているハザードマップの

内容を確認し、土砂災害や水災などの危険性を理解、地図上に記入

しながら、想定を基に、参加者各々が取るべき行動について、考えを出し合います。町で作った防災マップも活用しました。

### ●得られたもの

町を熟知している方々の参加であり、「あの場所から雨降ったらよ～水流れとるから危ないわ!」「土砂崩れやったら、こっちから逃げた方がええなあ!」と、活発に意見が出ました。一方、災害想定を基に具体的な行動を考えたことで、問題点も見えてきました。住民同士の相互連絡方法は? 災害発生時は一旦集まる? orすぐ活動? など、細かく取り決めていなかった部分が、実動の際のネックになるだろう、といった意見が交わされました。

### ●今後への課題

町を知り、その町の危険性を知り、行動を考え、考察する。その一連の流れで、今まで見えてなかったものが、一部でも見えたことの意味は非常に大きかったと思います。見えてきた問題点をひとつひとつ解決することで、さらなる地域防災力の向上が見込まれることと思います。(北消防署 三宅 亘)

